

片手でも自走できる車いす用新型駆動機構

車いすでの移動を「介助」から「自立」へ

(2026年)



開発中の本駆動機構は、市販の自走式車いすに後付けできる新しいシステムです。「両輪の二重ハンドリム」「車輪中央部のハブケース」「連結回転軸」の3つで構成されています。

通常の車いすは両手での操作が必要ですが、本機構を搭載することで、片手だけでも直進・バック・右左折が自由に行えます。

腕のケガや点滴などで片手しか使えないユーザーでも自走できるため、医療現場における「介助される移動」から「自立した移動」への移行を目指します。

ユーザーの皆様をはじめ、医療関係者、製造販売企業の皆様からのアドバイスやご意見をお待ちしております。

アームホルダーをつけて自走する

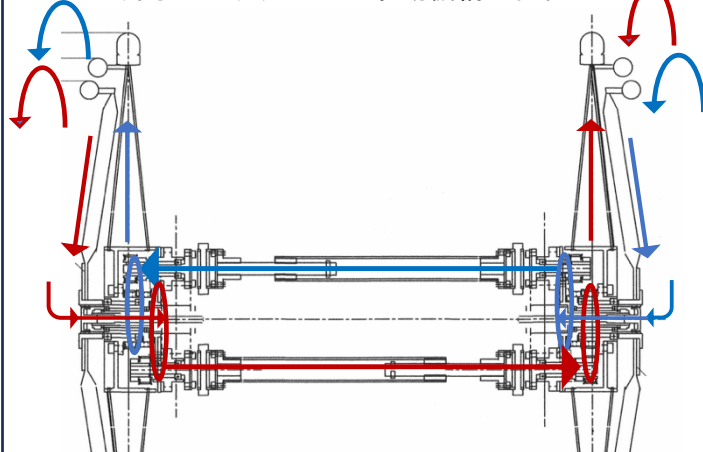


(重量増約5kg・連結回転軸を着脱して折りたたみ可能・車輪着脱式)

点滴スタンドを固定し、トイレへ移動する



片手でも自走できる駆動機構の仕組み



右側の内側のハンドリムの回転(青色)が左側の車輪側(青色)に伝達する。赤色はその反対方向を示す。( ベルトとプーリによる駆動伝達方式) (国内特許第 6288746 号 / 米国特許 No. US11, 191, 682 B2)

回転の遊びを少なくするため歯車からベルト・プーリ式に改良したハブケース内の部品



合同会社ライフスペース研究所 Research Institute for Life Space LLC

005-0804 北海道札幌市南区川沿4条5丁目7番23号

Tel 011-571-2585 Email: info@ri-lifespace.com

URL <https://ri-lifespace.com>



ホームページ